

# レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

令和3年度 第1回  
富田林市交通会議 資料6

## • レインボーバスとは？

市役所や市内の主な公共施設を巡回するコミュニティバスとして、富田林駅前～金剛連絡所間を運行。市民の移動手段を確保し、さらなる社会参加の促進を目指す。

運行日：年末年始を除く毎日

便数：1日8便

運賃：1回大人100円（小児50円）

## • 最近の取組み

- 令和元年7月 新型車両（小型）の購入
- 令和元年11月 SDGsつり革の設置
- 令和2年1月 利用者等へのアンケート調査の実施
- 令和2年5月 緊急事態宣言により、土・日・祝日を運休
- 令和3年5～6月 緊急事態宣言により、土・日・祝日を運休



# レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

## • レインボーバスの課題について

- レインボーバスは、南海バス、近鉄バスの路線バスのルートと輻輳する区間が多く、また、レインボーバスは運賃が100円であり、路線バス運賃と比較すると半額以下の設定になっているため、路線バスの衰退を招く恐れがある。
- 特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、さらに公共交通全体の利用者が激減している。
- 公共施設の巡回バスの位置づけもあるが、巡回されていない公共施設も存在する。
- 収支率（運行経費－運賃収入）が20%以下（令和2年度）であり、その差額は市補助金をバス会社に支出している。
- 特定の地域しか運行しておらず、全ての市民が利用できる運行ルートになっていない可能性。

さらに

近畿運輸局との「地域連携サポートプラン」協定に基づく「提案書」において、「レインボーバスについて、既存路線バスと重複するルートの見直しや、路線バスと重複する区間は運賃の統一化を図る等、既存路線バスに影響を与えないよう見直しを検討する。」とあることから、これらの解決に向けた検討は、早急に行うべきと考える。

# レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

## ・利用者の声

令和2年1月、レインボーバス利用者、駅前、公共施設利用者等を対象にアンケート調査を実施

### レインボーバスに対する期待

- 運行されていない地域にも運行してほしい
- レインボーバスのルート、便数を充実してほしい
- 路線バスとの重複するルートを見直してほしい
- レインボーバス車内環境を向上させてほしい

### 地域公共交通に対する考え方

- 9割以上の回答者は、地域公共交通を大切に考えている。
- 市の財源を交通不便地域対策や路線バスの維持に活用することを望まれている。
- 自分でできることとして「日頃から公共交通を利用すること」が最も多い。

### 地域公共交通に望むこと

- 交通不便地域への公共交通の充実
- 富田林駅⇨金剛駅間の地域公共交通の必要性
- 高齢者や免許返納者などに対する割引等の対策
- 病院送迎バスの利活用…など

**レインボーバス等に関するアンケート調査**

日頃は、本市交通行政の推進にご協力いただき厚く御礼申し上げます。  
富田林市のコミュニティバス「レインボーバス」は、運行経費のうち、利用者の皆さまからいただくバス料金収入を差し引いた額を、市の補助金（税金）で補われており、その財政負担をはじめとした運行のあり方について様々な課題を抱えています。

一方で、少子高齢化の進展に伴い、地域公共交通（生活に身近な鉄道、バス、タクシー等）の必要性は年々高まっており、市民の皆様の重要な移動手段でもある地域公共交通を、恒久的に守り育てるには、現在の「レインボーバス」のあり方も含め、抜本的な検討が必要状況であります。

このような状況を踏まえ、「レインボーバス」も含めた地域公共交通に関する考え方を把握するための基礎資料として、アンケート調査を実施いたします。

つきましては、お忙しいところとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容は、上記の趣旨以外の目的に使用することは一切ございません。また、回答結果を公開するに当たり、回答者の特定ができないように統計的に処理いたします。

令和2年1月 富田林市長

**レインボーバスの現状**


運行便数 1日8便

➤ 利用者数  
平成29年度 63,619人  
平成30年度 61,059人

➤ 運行経費及び本市補助金（平成30年度）  
運行経費（補助基準額）：21,800千円  
内訳 市補助金（税金）：15,686千円 運賃収入：5,914千円

➤ レインボーバス運行にかかる主な課題

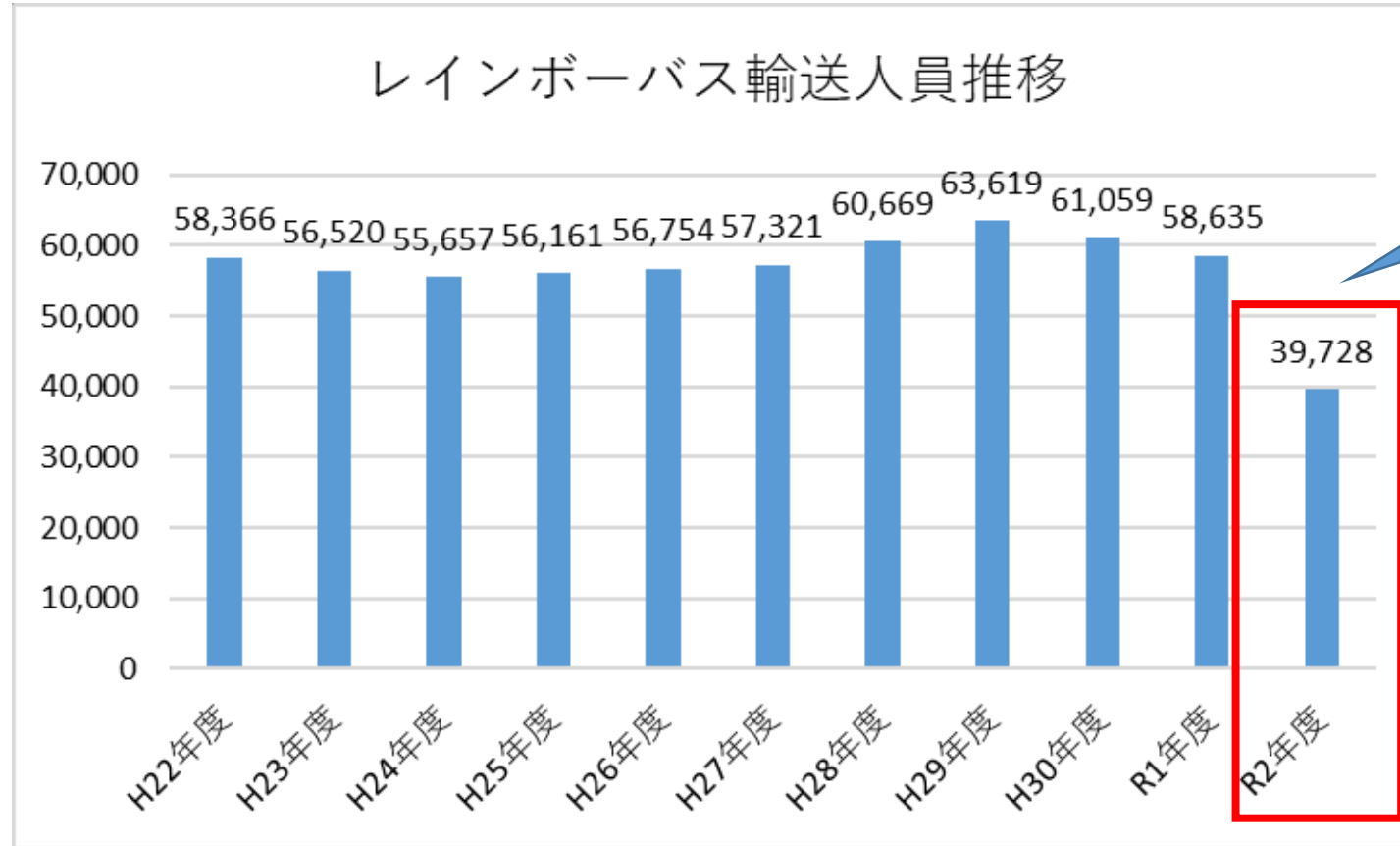
1. 他のバス路線運営と比較して安価な料金体系  
例：「レインボーバス」金剛達姥所⇨富田林病院前 100円  
高野バス 久野橋台2丁目⇨富田林病院前 230円
2. バス路線との重複（複数のバスが同じ区間を運行されている状態）  
・利用者が減少する中、複数の路線で利用者の取り合いが発生しています。
3. 人口減少及び少子高齢化に伴う利用者の減少  
・利用者が減少すれば料金収入が減少となります。その場合、市補助金の増額、運行便数の削減、ルートの見直し、料金の値上げ等の何らかの施策を実施せざるを得なくなります。



また、アンケート調査票を配布する中で、リピーター（繰り返し利用する人）が多いこともわかった。

# レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

## • レインボーバスの利用状況について



前年度比で  
約3割減少

### 最近の状況について

- 新型コロナ感染拡大前（令和元年）  
毎月の利用者数：約5,000人
- コロナ禍（令和3年）  
毎月の利用者数：約3,000人

**新型コロナの影響により利用者が激減、** さらに、コロナ禍である今年度も**利用者数は回復していない状況**

➡ アンケートを実施した頃とは状況が変わっている

# レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

## • 分科会の設置について

- 課題や利用者のアンケートの結果を踏まえて、レインボーバスのあり方について、関係する交通事業者や市民の代表者等と具体的な議論を重ねて決定する必要があることから、「富田林市交通会議」に専門の分科会を設置することとなった。



令和2年11月 レインボーバスのあり方検討分科会設置



構成員：学識経験者・近畿運輸局・市民代表・バス事業者

# レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

- 分科会の今後について

しかし

コロナ禍により分科会で検討  
できない状況に…

理由

- 緊急事態宣言下では、レインボーバスの利用状況を把握することが困難。
- コロナ終息後の公共交通の実情が現状では見通せない。

緊急事態宣言の解除により  
検討を開始

# レインボーバスのあり方検討分科会の進捗状況について

## ・分科会の今後の進め方について

令和3年度

令和4年度

スケジュール及び進め方については予定ですので、変更される場合があります。

分科会開催

分科会開催

進め方の一例

第1回：令和3年12月ごろ	課題抽出及び意見聴取
第2回：令和4年 2月ごろ	方向性の検討
第3回：令和4年度前半	ルート案の選定
第4回：令和4年度半ば	利用促進策の検討

- ・令和3年12月頃開催予定
- ・レインボーバスの課題を共有
- ・分科会委員から意見聴取  
⇒会議状況を交通会議に報告



分科会委員の皆さま、ご協力をお願いいたします。